

第17回JWRC水道講座
～地方自治における水道事業の位置づけと課題～

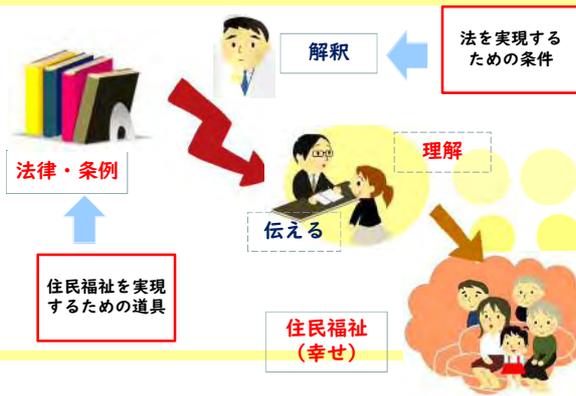
- 令和4年9月12日(月) 14:10～15:00
- 自治体法務ネットワーク代表 森 幸二

法的な考え方
・ものの見方の
はじめ

法の解釈適用

読む≠解釈する

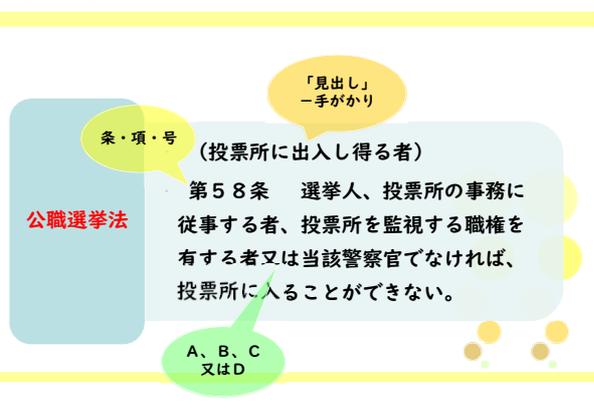
法務能力とは、法を解釈し、伝える能力



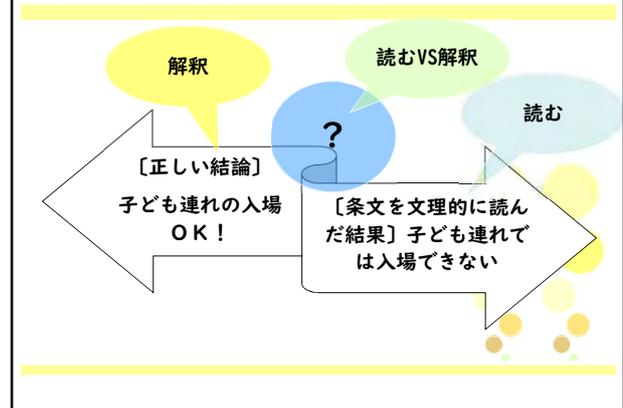
事例：子ども連れで入場できるか？

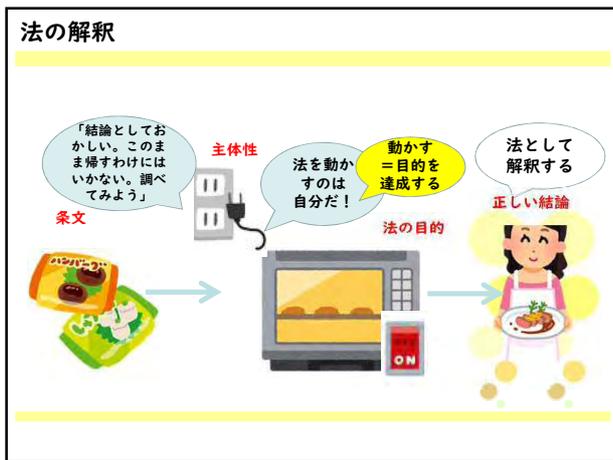
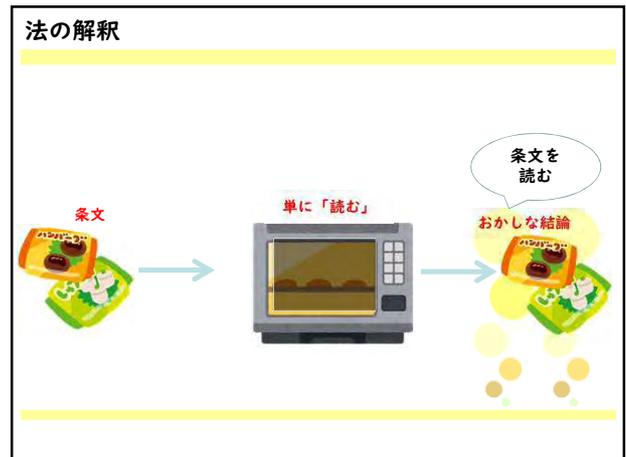
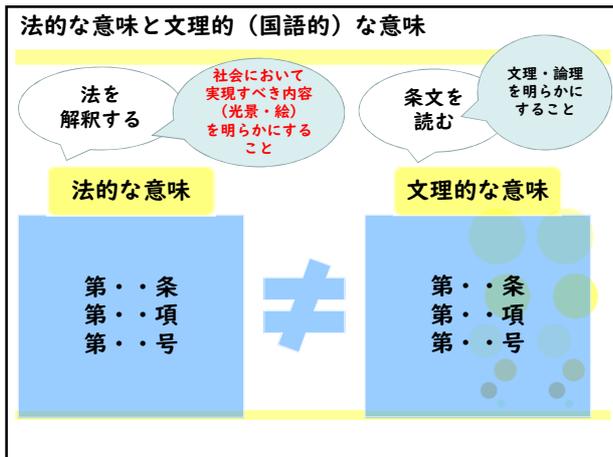


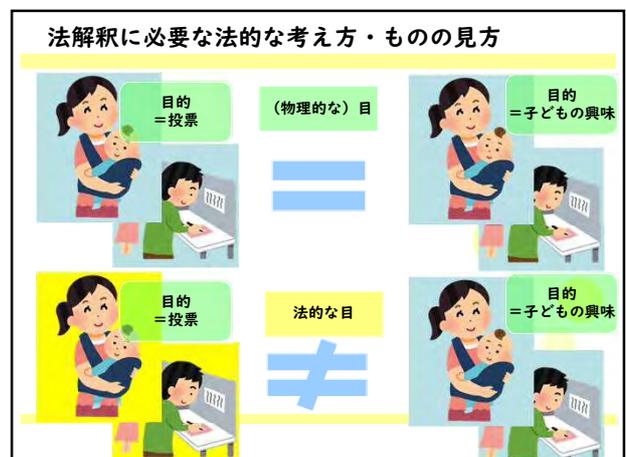
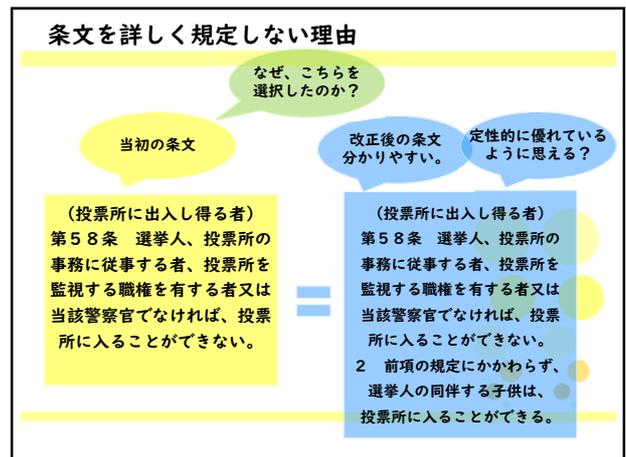
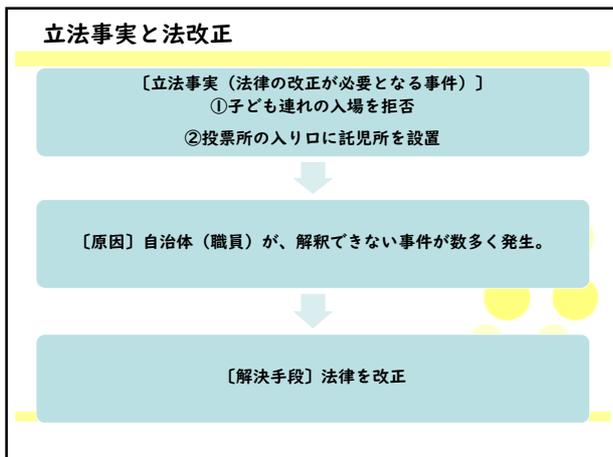
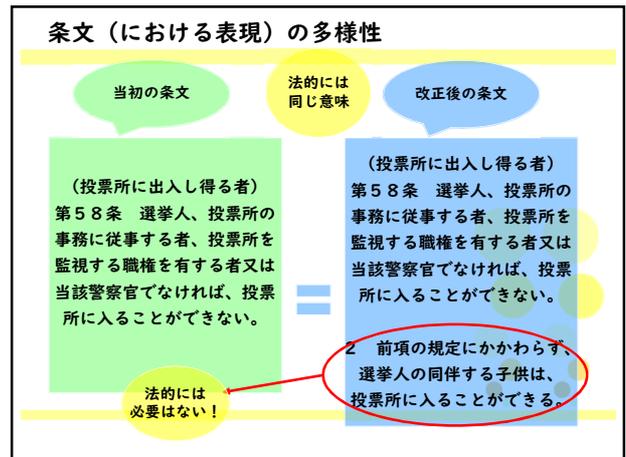
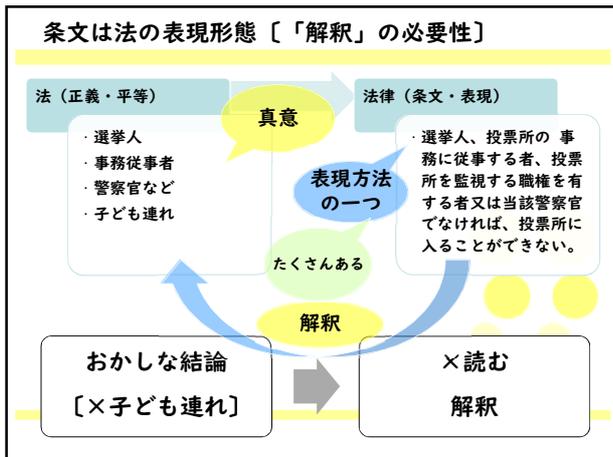
法の根拠



条文を読んだ結果と正しい結論







法解釈に必要な法的な考え方・ものの見方

物理的・視覚的なものの見方 生物学的な目

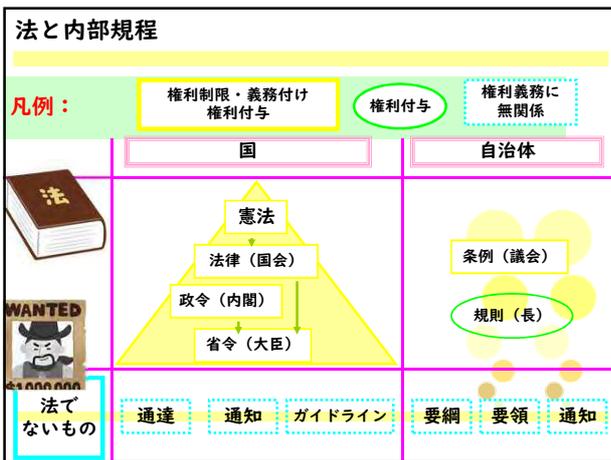
- ・ 目に映る姿形が同じものはすべて同じもの

法的な考え方・ものの見方 法的な目

- ・ 物理的・可視的に同じものでも目的・趣旨・立場が異なるものは「別のもの」

条例、規則、要綱のしくみ

自治体の規程

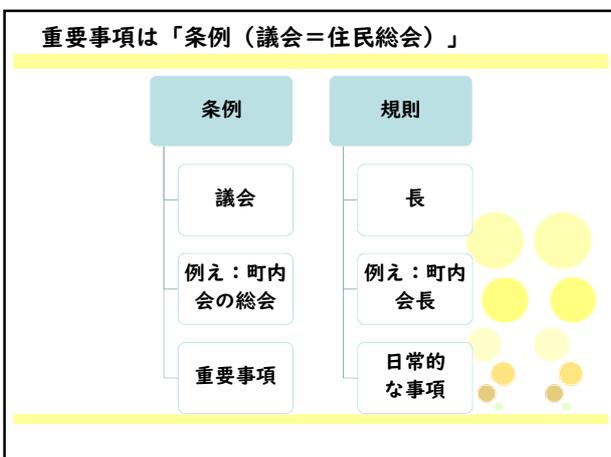


条例事項（住民の権利と義務）

第14条 普通地方公共団体は、**法令に違反しない限りにおいて**第2条第2項の事務に関し、条例を制定することができる。

第15条 普通地方公共団体の長は、法令に違反しない限りにおいて、その権限に属する事務に関し、規則を制定することができる。

第14条 2 普通地方公共団体は、義務を課し、又は権利を制限するには、**法令に特別の定めがある場合を除くほか**、条例によらなければならない。



条例＝契約の締結

〇〇条例
第〇〇条 住民は住民税を収入の10%納付しなければならない。

条例事項（重要事項）～法律行為と事实在為～
法的な価値・仕分け表

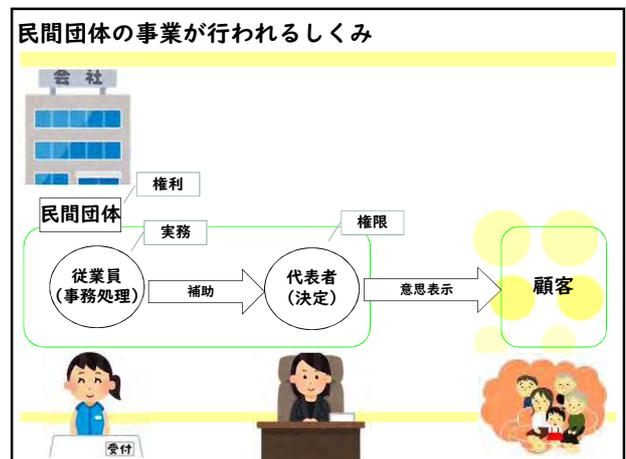
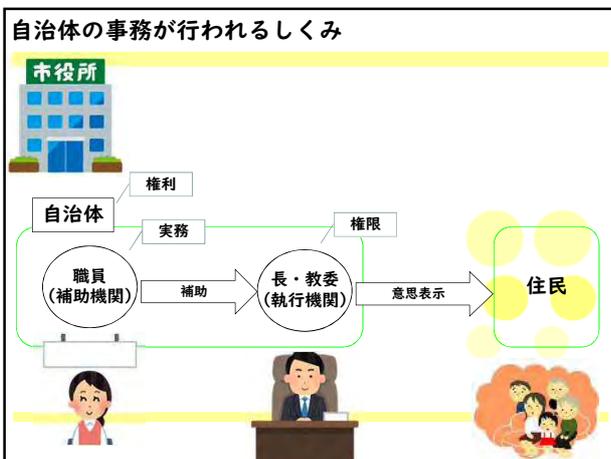
	法律行為	事实在為
基本計画の策定	「権利と義務が住民にとって最も大切」という価値観	×
イベントの実施		×
特産物のPR		×
税の賦課	●	●
公の施設の使用許可	●	●
住民票の交付	●	●

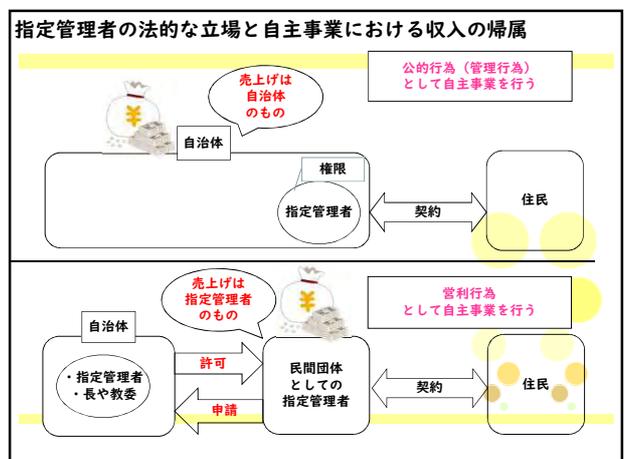
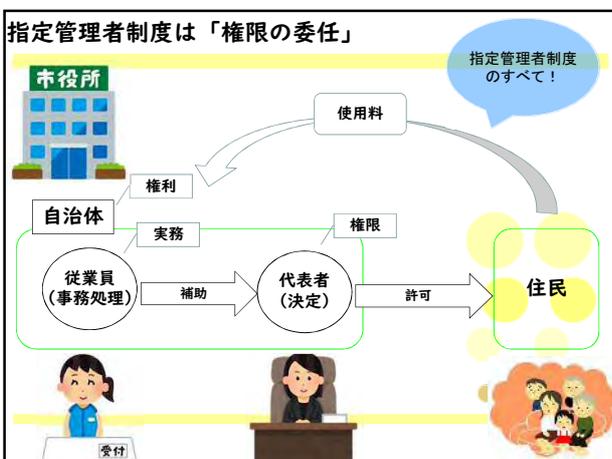
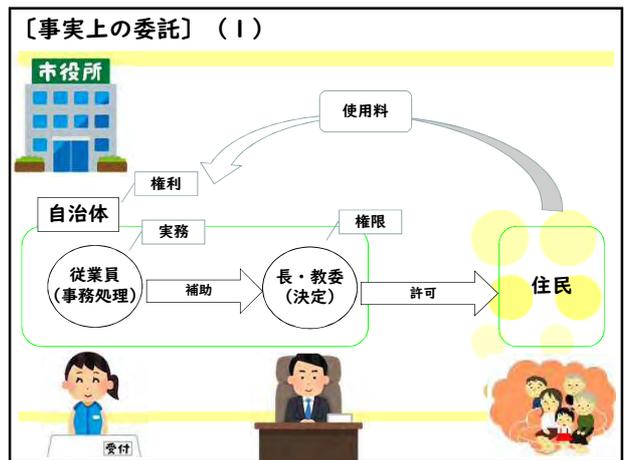
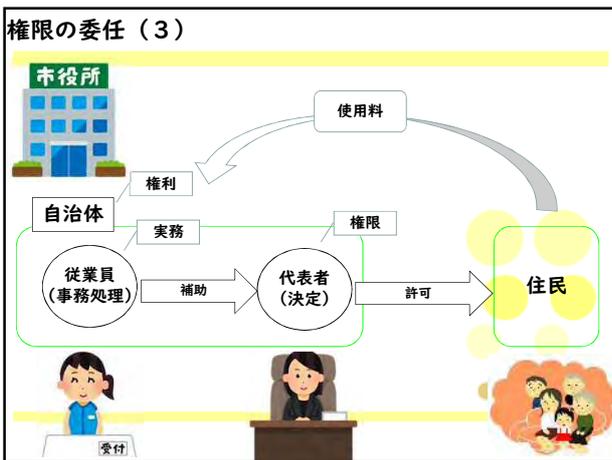
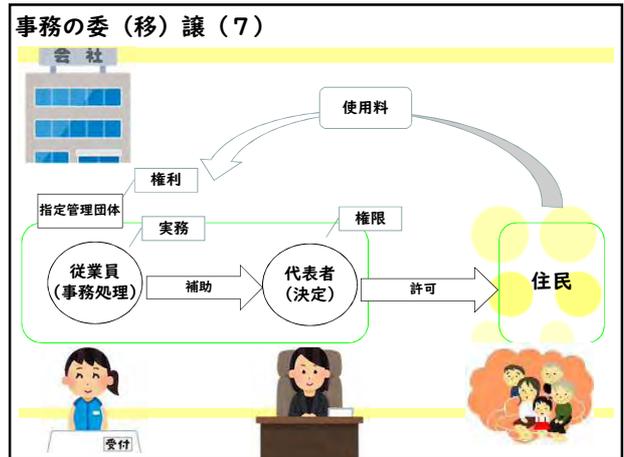
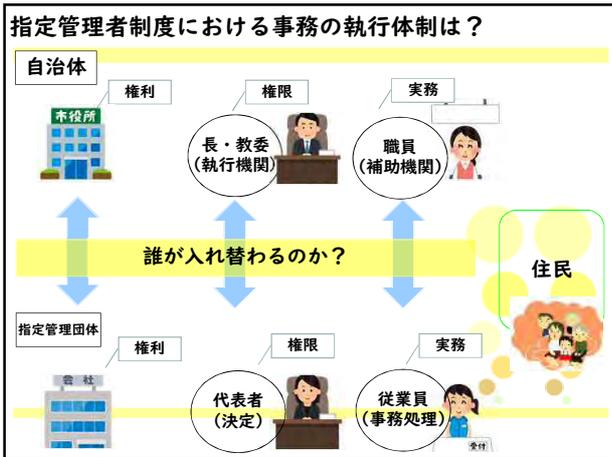


条例、規則等、要綱等の効果の違い

北九州市飼い犬 **条例** 行政処分

第16条 市長は犬の飼い主に犬を犬小屋に入れるよう命ずることができる。





法的なものの見方・考え方

～立場で人を評価する～

法的な行政の実現、法律問題の解決に必要なこと

社会生活一般・・・人は具体的・個別的な存在（例：森幸二さん）

↓

法の世界・・・人は立場で評価される抽象的存在

↓

例：自治体職員、納税義務者、被許可者、〇〇契約の当事者

↓

「立場で人を評価する」

↓

法的な考え方の入口

- ・法律問題（物語）の当事者（登場人物）を確定する。
- ・契約と行政処分ごとに結び付ける。

↓

同一人（人間・法人）であっても、法律関係ごとに別人！

↓

法律関係で直接繋がっていない者同士の間には
権利や義務は発生しない！

例題1

あなたが、牛丼屋さんで食事をしていました。
しかし、店内のどこにも営業許可証が貼っていないので、店主に指摘したところ、

「先月、許可を取り消されました。その後、許可は受けていません。その代わりに、特盛にしています！」

という、うれしいようなそうでもないような答えが返ってきました。さて、あなたは、注文した牛丼代を支払う義務があるでしょうか。

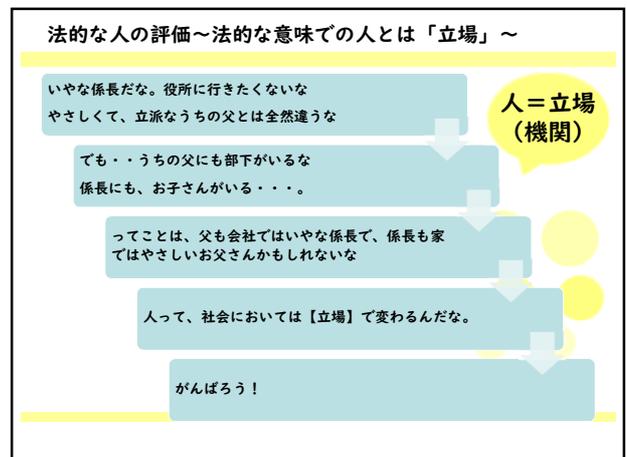
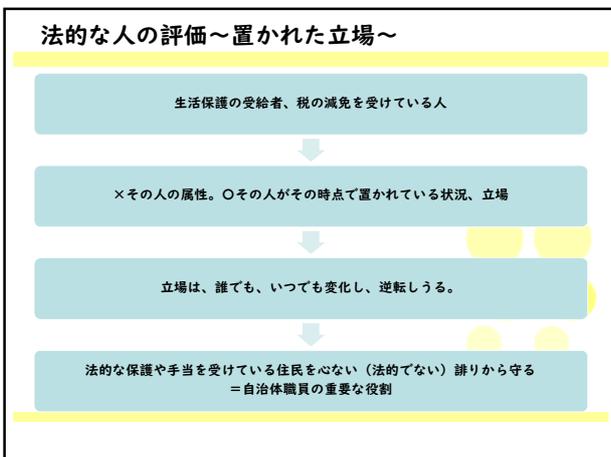
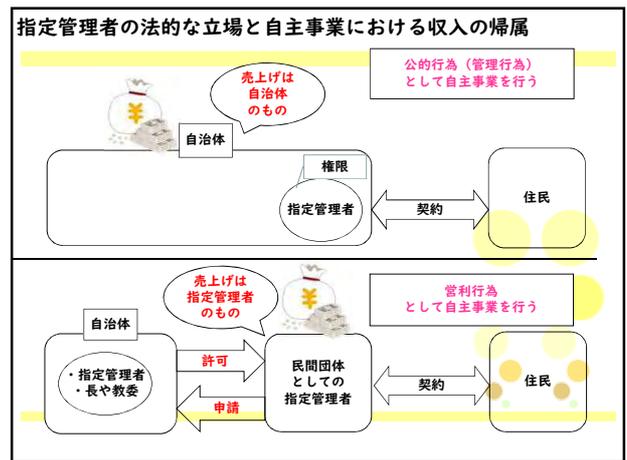
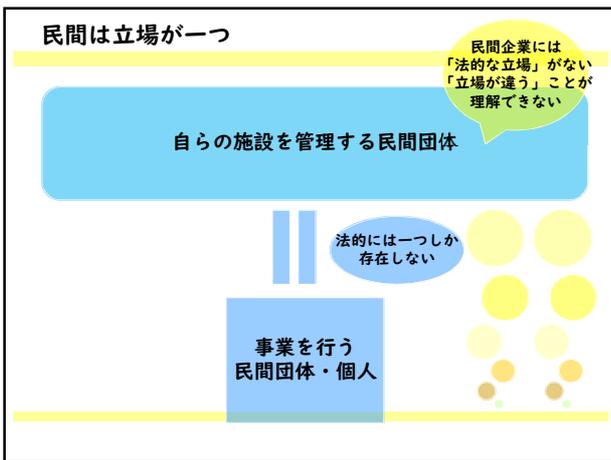
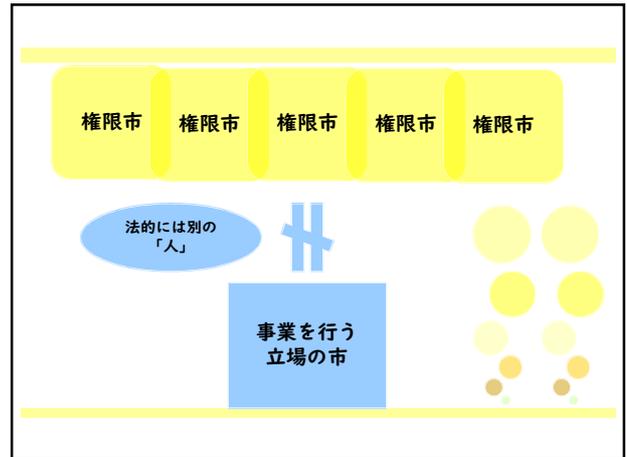
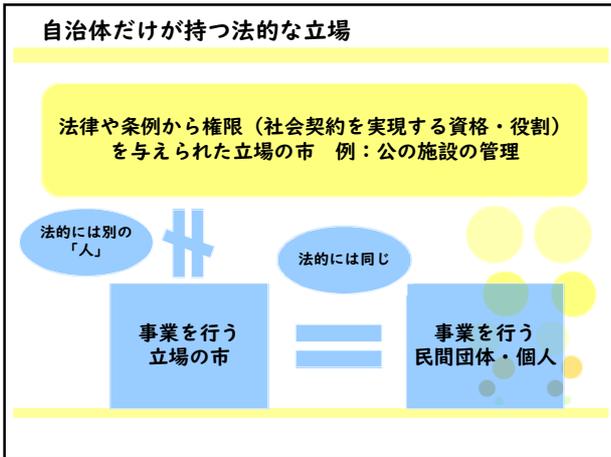
論理的な考え方

法的な考え方

例題2

X市が市民ホール使ってイベントを行うときにも、許可が必要でしょうか。

- ①許可の権限を持っているX市の事業だから許可は必要ない。
- ②許可の事務を行っているX市と事業を行うX市とは法的な立場が別。許可は必要。



「関係性」ではなく「立場」

- 法的な心
 - ・・・自分の周りの人たち、自分に親い人たち
 - 自分にとって大切な人たち
 - を困らせることになっても、未だ会ったことのない、顔も知らない
 - 自分と関係性を築くことは永遠にない
 - このまちのどこかで困っている人を助ける心意気！

法的な人物評

評価する人	評価しない人	評価する人	評価しない人

3年後

評価を思に

おわりに

～地方自治における水道事業の位置づけと課題～

「法的」という価値観（3つ目の大切なこと）

法務には、公務員としてのものの見方や価値観が詰まっている。単なる条文としての根拠ではない。

法律・条例

理屈とアウトプットだけでは動けない。

理屈やメリットを犠牲にしても達成しなければならないこと。

論理的な判断（三段論法）

政策的判断（メリット）

法的な判断（価値的）

法（という価値）を手に入れるための勉強

住民福祉（幸せ）

公務員になること

法務には、公務員としてのものの見方や価値観が詰まっている。単なる条文としての根拠ではない。

法的な価値観・判断力

自治体職員

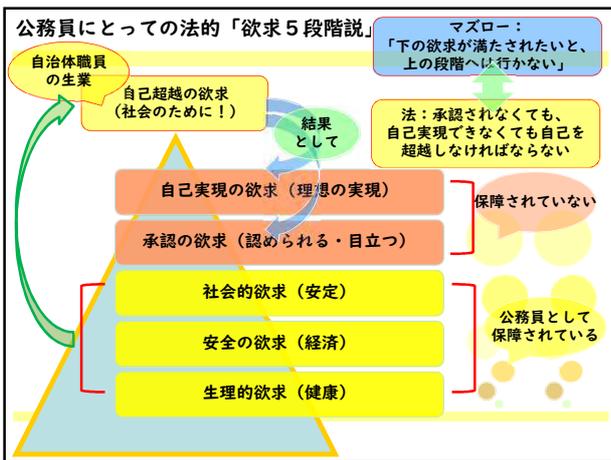
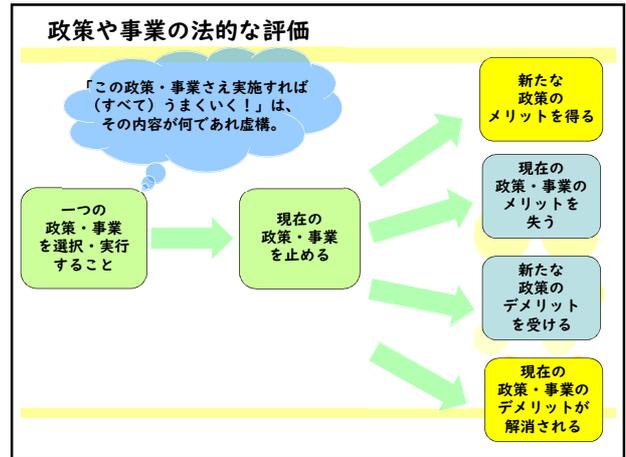
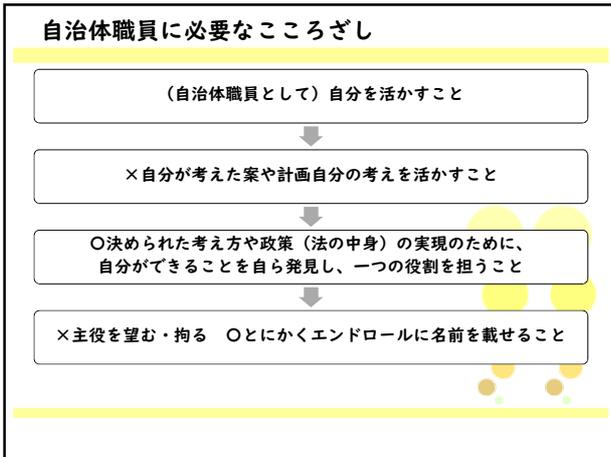
民間の社員

受付

自治体職員に必要な能力

自治体職員

- 法**
 - 正しいかどうか
 - 法令に合っているかどうか
- 論理**
 - 説明できるかどうか
- 政策**
 - 課題が解決できそうかどうか



法律行為と事実行為（法的な「価値観」）

	法律行為	事実行為
基本計画の策定		自己実現の欲求（理想の実現）
イベントの実施		承認の欲求（認められる・目立つ）
特産物のPR		
税の賦課		
公の施設の使用許可	自己超越の欲求（社会のために！）	
住民票の交付		